

第2次仁淀川清流保全計画（改訂3版）取組項目

 … 重点項目

 … 新規項目

テーマ	初版	改訂第2版	改訂第3版（案）
子どもたちを川へ呼び戻す 	1. 親子で川にふれ合う行事の充実、広報 2. 子どもたちの水生生物・水生植物の生息調査や水質調査への参加機会の拡大 3. 安全・安心で楽しい水辺空間の拡大 4. 学校での環境学習の実施	1. 親子で川にふれ合う行事の充実・広報 （統合、削除） 2. 安全・安心で楽しい水辺活動の推進 3. 学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援	1. 親子で川にふれ合う行事の充実・広報 2. 安全・安心で楽しい水辺活動の推進 3. 学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援 
水文化を継承する	1. 流域の水文化に親しむ機会の拡大 2. グリーンツーリズム活動の推進 - 3. 仁淀川にまつわる民話や伝説の収集	1. 流域の水文化に親しむ機会の拡大 （削除） 2. 地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持 3. 仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用	1. 流域の水文化に親しむ機会の拡大 2. 地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持 3. 仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用
川本来の生態系を取り戻す 	1. 多自然川づくりの実施 2. 水生生物や水生植物の生息調査の実施 3. 川に棲む動植物の繁殖対策	（削除） 1. 自然環境調査の実施 2. 生物多様性の確保に向けた取組の実施 3. 水辺林の保全と適正な管理	1. 自然環境調査の実施 2. 生物多様性の確保に向けた取組の実施 （統合）
美しい景観を保全する 	1. 「仁淀川一斉清掃」の日の制定 2. 仁淀川へ遊びに来る人へのマナーアップ運動の啓発・広報 3. 仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進 4. 水辺林の適正な整備	1. 「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ 2. 河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施 3. 上下流の連携 4. 環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進 （移動）	1. 「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ等 2. 河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施 3. 上下流の連携 4. 環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進 5. サステナブルツーリズムの推進  
豊かな水量を確保・維持する 	1. 健全な森づくりによる山の保水力の回復 2. 環境先進企業、関係団体との地球温暖化対策に着目した森林整備 3. 森林組合・森林ボランティアを活用した森林整備 4. 耕作地の保全	1. 健全な森づくりによる山の保水力の回復 2. 森林組合や民間林業事業体に加え、自伐小規模林業者や森林保全ボランティアを活用した森林整備 3. 環境先進企業、関係団体との地球温暖化対策に着目した森林整備 （移動）	1. 健全な森づくりによる山の保水力の回復 （統合） 2. 環境先進企業、関係団体との地球温暖化対策に着目した森林整備 
排水・汚水処理対策を進める	1. 生活排水対策 2. 地域における環境保全対策 3. 事業系排水対策 4. 水質測定の結果と経年変化の分析	1. 生活排水対策 2. 地域における環境保全対策 3. 事業系排水対策 4. 水質測定の結果と経年変化の分析	1. 生活排水対策 2. 地域における環境保全対策 3. 事業系排水対策 4. 水質測定の結果と経年変化の分析
 情報発信を強化する	-	-	清流保全計画全般や協議会活動についての効果的な情報発信 

第2次仁淀川清流保全計画（改訂3版） 取組一覧

重 テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 親子で川にふれ合う行事の充実・広報	継続： 川にふれ合う行事の充実・広報	①行事の実施 ②シンボリックな行事の設定 ③①と②についての情報発信	・仁淀川親子ふれあい交流体験：年1回	有	○子どもたちがさまざまな行事に参加し、川の自然に接したりすることは、「きれいな川や生き物たちを残したい」という気持ちを持つきっかけになるとともに未来を担う子どもたちの人間形成にも大きく貢献する。
2. 安全・安心で楽しい水辺活動の推進	継続： 「RAC川の安全教室」の実施による安全な川の活動の推進	①安全・安心に活動するための基礎から学べる講座の実施 ②川のリーダーを養成する講座の実施	・講座受講者：100名 ・リーダー養成：9名	有	○川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力が身につく。 ○併せて、指導者の育成を行うことで、子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整えることで、安全・安心で楽しい水辺活動が実施できるようになる。
	継続： 危険箇所マップ等による情報提供	①観光事業者等と連携し、危険箇所マップ等を作成。H P等で情報発信	—	有	○危険箇所マップ等の情報発信によって、川での事故防止につなげられる。 事業者等と連携することにより、河川利用者の属性毎に効果的な啓発が実施できる。
3. 学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援	継続： 学校等での環境学習実施への支援	①「調べ学習ハンドブック」の学校等への提供と実施への支援 ②流域ニュースレターによる情報発信	・流域ニュースレター発行：年4回 ・水生生物調査実施：年14校	有	○学校と地域とが連携した学びの場づくりにつなげられる。 ○子どもたちの周辺の大人たち（教員、親など）の理解促進につなげられる。

重

テーマ：水文化を継承する

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 流域の水文化に親しむ機会の拡大	継続： 流域の水文化に親しむ機会の情報発信	①各種媒体を活用した情報発信	・F B投稿：年36回 ・流域ニュースレター発行：年4回	有	○流域の水文化に親しむ機会の情報発信によって、流域内外の人々が仁淀川流域の水文化に親しむ機会が拡大され、後世に向けての水文化の保全活用につなげられる。
2. 地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持	—	—	—	—	○中山間地域で暮らし続けられる仕組みづくりに取り組むことによって、暮らしに基づく水文化の維持につなげられる。
3. 仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用	継続： 伝承の収集と情報発信	①各種媒体を活用した情報発信	・流域ニュースレター発行：年4回	有	○流域内に伝わる伝承等を収集、活用することによって、仁淀川と人の関わりを見つめ直すきっかけにつなげられる。

重 テーマ：川本来の生態系を取り戻す

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 自然環境調査の実施	継続： 自然環境調査の実施	①「カジガエルの鳴き声調査」の実施と情報発信 ②底生生物調査の検討・実施	・カジガエルの鳴き声調査：毎年 ・底生生物の確認種数の維持	有	○市民参加型調査を実施することで、生物多様性について考えるきっかけになる。 ○底生生物調査を実施し、仁淀川流域の生態系の現状を把握することによって、生態系の保全に向けた取組の検討や実施につなげられる。
2. 生物多様性の確保に向けた取組の実施	継続： 外来種拡大防止に向けた情報発信	①各種媒体を活用した情報発信	・流域ニュースレター発行：年4回	有	○在来種の保全、外来種の拡大防止対策を行うことで、仁淀川本来の生態系の維持につなげられる。 ○水辺林の保全を図ることで、川の生き物の生息環境の安定化や水質浄化などの水辺林が持つ本来の機能が維持され、良好な河川環境の保全につなげられる。 ○仁淀川の生物多様性の確保に向けて勉強会を実施し、流域生態系の課題共有をすることで、意識向上につながる。
	継続： 水辺林の保全と適正な管理	①溪流沿いに繁茂する溪畔林の整備箇所等の検討 ②河川敷に繁茂する河畔林の整備箇所等の検討	—	有	
	新規： 仁淀川の生物多様性の確保に向けた勉強会	①勉強会の実施による流域生態系の課題共有と改善策の検討	・勉強会の実施：年1回	有	

重 テーマ：美しい景観を保全する

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ等	継続： 仁淀川一斉清掃の実施	①一斉清掃の実施	・のべ参加者：2,000名	有	○一斉清掃活動への参加により、河川ごみの現状や仁淀川と暮らしの関係、上流と下流のつながりに関心を持つきっかけになるとともに、ゴミを出さない、捨てない心を育むことにつなげられる。
2. 河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施	継続： 事業者との連携による啓発の実施	①観光事業者や環境先進企業と連携した啓発	—	有	○事業者等と連携することにより、河川利用者の属性毎に効果的な啓発が実施できる。
3. 上下流の連携	継続： 水質マップによる情報発信	①水質調査結果を収集しマップにして発信	・水質マップ公表：年1回	有	○仁淀川のつながりが意識できる情報発信により上下流の関係を再認識し、流域全体に目を向けた河川環境保全につなげられる。
	継続： 河川ごみマップ等による情報発信	①河川ごみの種類や量を収集しマップにして発信	・河川ごみマップ公表：年1回	有	
4. 環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進	継続： 流域の団体が実施している環境保全活動の普及促進	①ボランティア団体や環境先進企業が実施する清掃活動等の取組の普及促進	—	—	○流域のボランティア団体や環境先進企業と連携することにより、流域全体での清流保全活動の推進につなげられる。
	継続： 「協働の川づくりパートナーズ協定」による取組	②協定に基づく環境先進企業と連携した清流保全活動の推進	—	—	
5. サステナブルツーリズムの推進	新規： 事業者との連携による啓発の実施【再掲】	①観光客が仁淀川に貢献する仕組みの検討・実施	—	有	○事業者等と連携してサステナブルツーリズムにつながる仕組みを構築し、河川環境保全につなげられる。

新重

重 テーマ：豊かな水量を確保・維持する

重

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 健全な森づくりによる山の保水力の回復	継続： 間伐の実施	①造林補助事業及び治山事業等の実施による除・間伐	－	有	○手入れが十分でない人工林の間伐や針広混交林の拡大により、豊かな森林土壌が形成され、水源かん養機能が向上し、雨水が腐葉土の中の栄養分を含んだ状態で川に流れ込むことが期待できる。
	継続： 針広混交林の拡大（落葉広葉樹の植林）	①水源涵養機能維持増進森林内で強度間伐	－	有	
	継続： 水辺林の保全と適切な管理【再掲】	①溪流沿いに繁茂する溪畔林の整備箇所等の検討	－	有	
2. 環境先進企業、関係団体との地球温暖化対策に着目した森林整備	継続： 「協働の森づくり事業」を活用した森林整備の推進	①仁淀川流域での「協働の森づくり事業」の推進	－	有	○協働の森づくり事業の推進や木質バイオマス燃料の使用拡大により、CO2の排出削減につなげられる。 ○森林ボランティアを活用することで、担い手不足である森林の再生につなげられる。
	継続： 木質バイオマスの活用拡大	①木質バイオマスの有効活用	－	－	

テーマ：排水・汚水処理対策を進める

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 生活排水対策	継続： 生活排水対策の実施	①公共下水道、農業集落排水への接続及び合併処理浄化槽の普及促進と維持管理の徹底 ②浸透性農業の利用低減	－	－	○環境に配慮した排水・汚水処理対策を進めることで、河川水質の維持向上や生態系保全につなげられる。
2. 地域における環境保全対策	継続： 家庭での環境保全対策についての情報発信	①水切りネットや無洗米の利用、ごみを出さない・捨てない生活の提案・推進（協議会や市町村等における広報・周知）	－	有	○家庭で出来る具体的な生活排水対策を広報することにより、河川環境に関心を持つきっかけとなるとともに、水質保全につなげられる。
3. 事業系排水対策	継続： 事業者と行政機関が連携した浄化施設の整備	①事業者における浄化施設整備への補助	－	－	○環境に配慮した排水・汚水処理対策を進めることにより、河川水質の維持向上や生態系保全につなげられる。
4. 水質測定の測定結果と経年変化の分析	継続： 水質測定結果と経年変化の確認	①各測定機関における水質調査の実施・確認	－	－	○各種対策の効果をはかる指標のひとつとするほか、広く知ってもらうことで県民（流域市民等）の意識向上につなげられる。
	継続： 水質測定結果についての情報発信	①各測定機関における水質調査結果の情報発信	－	－	

新 テーマ：情報発信を強化する

取組項目	具体的な取組	主な内容	目標指標	線表	期待される効果
1. 清流保全計画全般や協議会活動についての効果的な情報発信	新規： 新たな情報発信ツールや仕組みづくりの検討	①流域関係者が連携し効果的な情報発信の仕組みを検討・実施（シンボリックな取組の企画・実施）	－	有	○流域内外の人に仁淀川清流保全計画や協議会の清流保全活動を広く知ってもらうことができる。 ○流域内外の人と人、人と川との関係性を深め、保全活動の参画者を増やしていくことにつなげられる。
	新規： 事業者との連携による啓発の実施【再掲】	①観光事業者や環境先進企業と連携した啓発	－	－	

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す 重	目 的	仁淀川にふれ合う行事を充実させるとともに広報活動を実施することによって、親子で参加できる行事へ数多くの参加を促す。
取組項目	1. 親子で川にふれ合う行事の充実・広報		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	川にふれ合う行事の充実・広報 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。	仁淀川親子ふれあい交流体験:年1回 Facebook等での情報発信	計 画		企画、予算獲得、関係者調整、実施(年1回、夏期に開催)				仁淀川親子ふれあい交流体験:年1回 SNS等での情報発信
			実 績						

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す 重	目 的	川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材の育成及び育成した人材の指導による子どもを対象とした安全教室、環境学習等が実施できる体制を整える。また、危険箇所マップ等の情報発信により、川での事故防止につなげる。
取組項目	2. 安全・安心で楽しい水辺活動の推進 重		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	「RAC川の安全教室」の実施による安全な川の活動の推進 川の特性を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材を育成する。 子どもたちの川の体験活動をサポートできる人材を育成する。	RACリーダー養成: 13名	計画	RACリーダー養成講座(3種類×年1回)、基礎を学べる講座としても募集 受講者:年20名					講座受講者:100名 リーダー養成:9名
			実績	受講者:13名(第1弾)		リーダー養成:3名	リーダー養成:3名	リーダー養成:3名	
2	危険箇所マップ等による情報提供 観光事業者や流域市民等と連携し、仁淀川の危険箇所の表示(サイン)や危険箇所マップ等の作成・配布といった情報発信を行い、仁淀川での事故防止につなげる。	仁淀川危険箇所マップ(HP)の公開及びミニマップの配布	計画	危険箇所マップ等の情報発信 危険箇所の表示や効果的な情報発信についての検討、協力関係の構築					—
			実績						

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す 重	目 的	流域内の学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援を行い、学校での取組を増やすことによって、子どもたちの川への関心を高める。
取組項目	3. 学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	学校等での環境学習実施への支援 仁淀川について学べる「調べ学習ハンドブック」の学校等への提供と実施への支援を行う。 情報発信を行いながら、学校と地域とが連携した学びの場づくりにつなげる。	水生生物調査:年7～11校 水質調査:年7～12校	計 画	「調べ学習ハンドブック」講座実施への支援(既存の取組継続を含む)及び情報発信 学校等における水生生物調査の実施等 仁淀川流域ニュースレター発行(年4回、流域内小中学校への配付、学校を介して家庭への配付)					流域ニュースレター発行:年4回 水生生物調査実施:年14校
			実 績						

テーマ	水文化を継承する	目 的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことを目的として、水文化に親しむ機会の拡大を図る。
取組項目	1. 流域の水文化に親しむ機会の拡大		

取組内容		これまでの実績 (2015 (H27) ~2024(R6))		計画スケジュール					2029 (R11)到達目標
				2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度	2028 (R10) 年度	2029 (R11) 年度	
1	流域の水文化に親しむ機会の情報発信 仁淀川にふれ合う行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。	FBでの情報発信	計画	行事の実施及びHPやSNSなど各種媒体を活用した情報発信					SNS投稿: 年36回 流域ニュースレター発行: 年4回
			実績						

テーマ	水文化を継承する	目 的	水を上手に使ってきた先人の知恵や流域固有の特徴ある水文化を流域全体で共有しながら次世代へ引き継ぎ伝えていくことができるように、仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用に取り組む。
取組項目	3. 仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	伝承の収集と情報発信	「川と人、社会、文化の理解講座」の開催: 年1回程度	計画	仁淀川流域ニュースレター発行(年4回、流域内小中学校への配付、学校を介して家庭への配付)					流域ニュースレター発行: 年4回
	流域内に伝わる伝承等を収集し、情報発信を行う。		実績						

テーマ	川本来の生態系を取り戻す 重	目 的	流域での水生生物や水生植物の生息調査の実施により、仁淀川流域の生物多様性について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	1. 自然環境調査の実施		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	自然環境調査の実施 河川やその周辺に生息・生育する生物の現状を把握するために自然環境調査を実施し、生態系の保全に向けた取組の検討や実施につなげていく。	カジカガエルの鳴き声調査：R4以降毎年	計画	カジカガエルの鳴き声調査及び情報発信（年1回） 					カジカガエルの鳴き声調査：年1回
			実績	底生生物調査の検討（調査地点・指標生物設定・調査回数・手法等） 底生生物調査の実施 					底生生物の確認種数の維持

テーマ	川本来の生態系を取り戻す 重	目 的	流域での外来種拡大防止や水辺林の保全、化学農薬の利用低減を図ることなどにより、生態系の崩壊をくい止めることにつなげる。
取組項目	2. 生物多様性の確保に向けた取組の実施		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	外来種拡大防止に向けた情報発信 在来種の保全、外来種の拡大防止対策について、各地域で自主的な取組が進むよう、関係機関等と連携した情報発信を行う。	オオフサモの駆除活動への参加 シンポジウム等での啓発	計画	HPやFBSNSなど各種媒体を活用した情報発信 仁淀川流域ニュースレター発行(年4回、流域内小中学校への配付、学校を介して家庭への配付)					流域ニュースレター発行: 年4回
			実績						
2	水辺林の保全と適切な管理 水辺林の保全を図ることで、川の生き物の生息環境の安定化や水質浄化などの水辺林が持つ本来の機能の維持につなげる。	新規	計画	溪流沿いに繁茂する溪畔林の整備箇所等の検討 河川敷に繁茂する河畔林の整備箇所等の検討					—
			実績						
3	仁淀川の生物多様性の確保に向けた勉強会の実施 仁淀川の生物多様性の確保に向けて、流域内で課題の共有や改善策の検討を行う勉強会を実施する。	新規	計画	勉強会の企画、検討、実施(年1回)					勉強会の実施(年1回)
			実績						

テーマ	美しい景観を保全する 重	目 的	流域全体での一斉清掃等の実施により清流保全活動に参加する機会づくりにつなげるとともに、仁淀川の現状について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	1.「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃への参加呼びかけ等		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	仁淀川一斉清掃の実施 「仁淀川・環境の日」(10月24日)の前後の土曜日に、住民や環境先進企業、関係団体、行政等が協働で一斉清掃を実施する。	年1回 H23以降のべ参加者数:5,055名	計 画	一斉清掃の実施(年1回) 					期間中 のべ参加者数:2,000名
			実 績						

テーマ	美しい景観を保全する 重	目 的	仁淀川のごみの状況について正しく把握するとともに河川利用者のマナー向上につなげる。
取組項目	2. 河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施 重		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	事業者との連携による啓発の実施	「仁淀川スタイル」の FB発信	計 画	HPやSNSのほか各種媒体を活用した観光事業者や環境先進企業等と連携した啓発 					—
	河川利用者との接点を持つ観光事業者や環境先進企業等と連携し河川利用者に対する啓発を実施することによってマナー向上につなげる。		実 績						

テーマ	美しい景観を保全する 重	目 的	愛媛県も含めた上流と下流とがつながっていることを意識できる機会を提供することによって、流域全体で連携した清流保全活動の推進につなげる。
取組項目	3. 上下流の連携		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	水質マップによる情報発信 仁淀川流域で実施している水質調査結果を収集・地図化し、情報発信を行う。	水質マップ公表: 年1回	計画	データ収集、地図化及び情報発信(年1回) 					水質マップ公表: 年1回
2	河川ごみマップ等による情報発信 仁淀川流域で回収されたごみの種類や量を地図化し、上流から下流への変化や本川と支川の違いを見える化する。	河川ごみマップ公表: 年1回	計画	データ収集、地図化及び情報発信(年1回) 					河川ごみマップ公表: 年1回
			実績						

テーマ	美しい景観を保全する 重	目 的	事業者等と連携してサステナブルツーリズムにつながる仕組みを構築し、河川環境保全につなげる。
取組項目	4. サステナブルツーリズムの推進		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	事業者との連携による啓発の実施【再掲】	新規	計 画	HPやSNSのほか各種媒体を活用した観光事業者や環境先進企業等と連携した啓発 					—
	河川利用者との接点を持つ観光事業者や環境先進企業等と連携し河川利用者に対する啓発を実施することによってマナー向上につなげる。		実 績						

テーマ	豊かな水量を確保・維持する 重	目 的	人工林の間伐や針広混交林の拡大を図ることなどにより、豊かな森林土壌を形成し、水源涵養機能を向上させ、腐葉土などの栄養分を含んだ水が川へ流れ込むことにつなげる。
取組項目	1. 健全な森づくりによる山の保水力の回復 重		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	間伐の実施 造林補助事業及び治山事業等の実施により、除・間伐を推進する。	各年平均:467.62ha	計画	計画的な除・間伐の実施(※協議会においては数値の把握) 					—
			実績	ha	ha	ha	ha	ha	
2	針広混交林の拡大(落葉広葉樹の植林) 水源涵養機能維持増進森林内で強度間伐を推進する。	各年平均:30.06ha	計画	計画的な針広混交林の拡大(※協議会においては数値の把握) 					—
			実績	ha	ha	ha	ha	ha	
3	水辺林の保全と適切な管理【再掲】 水辺林の保全を図ることで、川の生き物の生息環境の安定化や水質浄化などの水辺林が持つ本来の機能の維持につなげる。	新規	計画	渓流沿いに繁茂する溪畔林の整備箇所等の検討 					—
			実績						

テーマ	豊かな水量を確保・維持する (重)	目 的	協働の森づくり事業の推進や木質バイオマス燃料の使用拡大などにより、CO2の排出削減につなげるとともに、森林ボランティアなどを活用し、森林の再生につなげる。
取組項目	2. 環境先進企業、関係団体との地球温暖化対策に着目した森林整備		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	「協働の森づくり事業」を活用した森林整備の推進 仁淀川流域での「協働の森づくり事業」を推進する。	仁淀川流域における協定締結件数: 8件	計画	環境先進企業と連携した協働の森づくり事業における森林整備 					—
			実績						

テーマ	排水・汚水処理対策を進める	目 的	家庭で出来る具体的な生活排水対策の広報や、地域における環境保全対策について学べるプログラムの開発及び実施により、河川環境について考えるきっかけづくりにつなげる。
取組項目	2. 地域における環境保全対策		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	家庭での環境保全対策についての情報発信 生活排水対策に自主的に取り組む環境づくりのため、家庭でできる具体的な取組方法等の広報を行う。＜水切りネットや無洗米の利用、ごみを出さない・捨てない生活の提案・推進＞	継続新規	計画	具体的な取組方法等の広報内容の検討 広報の仕組みなどの検討 家庭での環境保全対策についての情報発信の強化					—
			実績						

テーマ	情報発信を強化する	目 的	流域内外の人に仁淀川清流保全計画や協議会の活動を広く知ってもらい、「仁淀ブルー」の川としての仁淀川の清流保全活動に積極的に参加してもらうことなどにつなげる。
取組項目	1. 清流保全計画全般や協議会活動についての効果的な情報発信		

取組内容		これまでの実績 (2015(H27)～2024(R6))		計画スケジュール					2029(R11)到達目標
				2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度	2029(R11)年度	
1	新たな情報発信ツールや仕組みづくりの検討	新規	計画	具体的な取組方法等の広報内容の検討 広報の仕組みなどの検討 新たな仕組みの導入・情報発信の強化					—
	流域関係者が連携して効果的な情報発信の仕組みを検討し、実施する。＜シンボリックな取組の企画・実施など＞		実績						